

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		桃山学院教育大学（学部・学科等の課程）		設置者名		学校法人 桃山学院			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和3年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
人間教育学部	人間教育学科	平成26年度	270人	幼一種免	平成26年度（令和元年）	164人	38人	125人	71人
				小一種免	平成26年度（令和元年）		60人		
				中一種免（国語）	令和3年度		-		
				高一種免（国語）	令和3年度		-		
				中一種免（英語）	令和3年度		-		
				高一種免（英語）	令和3年度		-		
				中一種免（保健体育）	平成26年度（令和元年）		34人		
				高一種免（保健体育）	平成26年度（令和元年）		34人		
				養教一種免	令和28年度（令和元年度）		10人		
				特支一種免（知・肢・病）	平成26年度		23人		
入学定員合計			270人	合計		164人	199人	125人	71人
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、令和4年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 								

教職課程認定大学の实地視察に対する講評

実地視察日：令和4年12月8日（木）

実地視察大学：桃山学院教育大学（オンライン）

【全般的事項】

○ 教員養成に関する教育課程、教員組織等については、一部是正すべき点があるものの全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き教員養成の水準の維持・向上に努めてもらいたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○ 教育活動の目標に「人間力と実践力を備えた教員の養成」を挙げているが、その目標を明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものとなるように、引き続き努めてもらいたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

○ 「教科に関する専門的事項」に関する授業科目と「各教科の指導法」に関する授業科目との線引きが曖昧で、「各教科の指導法」で扱うべき内容が「教科に関する専門的事項」で取り扱われている授業科目が散見された。それぞれ区別を明確にした上で、「教科に関する専門的事項」に関する授業科目は学生の知識を高めるものに、「各教科の指導法」に関する授業科目は教職課程コアカリキュラムを踏まえたものとなるよう検討すること。

○ 実務家教員を多く配置し教職指導等に様々取り組んでいることがうかがえたが、一方で、教職課程に携わる上での専門性の向上も重要である。実務家教員のアカデミックスキル向上のため、引き続き大学としての組織的な支援を継続していただきたい。

3. 教育実習の取組状況

○ 学校インターンシップ等を含め、段階を踏まえた教育実習等の体系が整備されており、学生への支援体制が充実していることが確認できた。

○ 教育実習の実施に加えてリフレクションにも注力している点が評価できる。引き続き丁寧な支援を継続していただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○ チューター制度及び少人数教育を活用し、一人一人の学生に丁寧に指導している状況が確認できた。

○ 履修カルテの活用等が効果的になされていることが確認できた。

○ 「チーム桃教」として全学的な体制で教職指導等に取り組んでおり、これらによ

る関係性の構築等の成果がうかがえた。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 学校インターンシップ等の実施にあたり、近隣の教育委員会との連携体制が構築されていることが確認できた。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 施設・設備については、十分に整備されている状況が確認できた。図書については、今後も教職課程での教育・研究に資するようさらなる充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- ICT 活用について、デジタル教科書の授業内での活用も含めて対応していることが確認できた。今後もさらなる充実に努めていただきたい。